



栃木県女性団体連絡協議会とは？

設立 1998年4月 32団体で結成

目的 栃木県域の女性団体相互の連絡を密にし、女性問題の解決を図り、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的とする

所属団体 2022年11月現在 12団体

栃木県ひとり親家庭連絡協議会 栃木県更生保護女盟
新日本婦人の会栃木県本部 とちぎつばさの会

ラポリティクスとちぎ 宇都宮市女性団体連絡協議会
鹿沼アテップ とちぎパラレルの会 P・G・Nひまわり

パーティショップ委員会

栃木県商工会連合会女性部 栃木県生活協同組合

活動内容

- 県からの委託事業として、グループ・団体活性化セミナー、連携ネットワーク懇談会、役員・リーダー研修会の実施。展示コーナーの運営・管理

2022年度より県民のつどいは委託事業から共催に変わりました。

- パルティ事業への参加・協力フェスタinパルティ参加
- 全国男女共同参画フォーラム、全国女性会義参加
- 依頼を受けた各懇談会、審議会等への委員派遣
- その他、男女共同参画を目的とした事業への参画



2022年度のテーマ



ジェンダー平等の社会を ～今できることを考えよう～

当会では、年度初めの役員会で今年度の活動テーマを決めます。今年度はコロナ禍の中でDVや女性の貧困が増えているとの報道を受けて、DVや女性の社会的現況について研修し、私たちに「今できること」を考え、行動を起こしていこうとの総意で上記テーマに決めました。

まずは、DVについての意識調査を実施し373名の方にご協力いただくことができました。第1回活性化セミナーではDVについて学び、第2回活性化セミナーでは、今できること、今やらなければならないことの話し合いを予定しています。1月実施予定の連携ネットワーク懇談会では、女性の貧困についての研修を企画しました。

ここでは、意識調査と第1回活性化セミナーについて報告いたします。



「DVへの意識調査」を実施

下記の8項目 ①そう思う ②どちらとも言えない ③思わないにチェックしていただきました。

- 1, 夫婦のコミュニケーション不足も暴力の原因と思う。
- 2, 子どもの成長には父親の存在が必要であり、多少の暴力はがまんする方がよい。
- 3, 夫婦間の暴力は、両方から話を聞いてみないとわからない。
- 4, 暴力を振るわれても逃げない女性の方にも問題があると思う。
- 5, 男性は口下手だから、つい手が出てしまうこともあると思う。
- 6, 生意気だ、気がきかない、素直じゃないなど、女性の方にも悪いところがあれば、夫から 多少暴力を振るわれても仕方がないと思う。
- 7, 男性が妻に暴力振るうのはストレスが原因と思う。
- 8, 暴力を振るわれるのは、振るわれる方にも責任があると思う。



2022年9月実施 〈ウイメンズハウスとちぎのチェックシート参照〉



DVの意識調査集計の報告とお知らせ

- 第1回意識調査を9月に実施し、373名の方にご協力を頂きました。
- 全体、男女別、年代別等に分けて集計いたしました。



集計表は11月19日にはフェスタinパーティ展示コーナーでご覧ください。

その後は、パーティ2階の当会事務局で保管していますので、関心のある方は当会事務局（028-665-7710）にお電話下さい。

（火曜日 10：00～16：00） 不在の場合もありますので予めご了承下さい

- パルティ展示コーナーで「DVへの意識調査チェック表」を展示しています。

機会がありましたら該当の番号にシールを貼って是非ご参加下さい。



	年代 性別 人数	30代以下							40代							50代						
		男	%	女	%	不明	計	%	男	%	女	%	不明	計	%	男	%	女	%	不明	計	%
		19		24		0	43		14		24		5	43		18		31		9	58	
1	① そう思う	12	63.2	12	50		24	55.8	10	71.4	8	33.3	2	20	46.5	9	50	10	32.3	2	21	36.2
	② どちらとも言えない	4	21.1	4	16.7		8	18.6	2	14.3	9	37.5	2	13	30.2	3	16.7	12	38.7	5	20	34.5
	③ 思わない	3	15.8	8	33.3		11	25.6	2	14.3	7	29.2	1	10	23.3	6	33.3	9	29	2	17	29.3
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0		0		0	0
2	① そう思う	0	0	1	4.17		1	2.33	1	7.14	2	8.33	0	3	6.98	0	0	1	3.23	0	1	1.72
	② どちらとも言えない	3	15.8	2	8.33		5	11.6	1	7.14	1	4.17	0	2	4.65	4	22.2	3	9.68	0	7	12.1
	③ 思わない	16	84.2	21	87.5		37	86	12	85.7	21	87.5	5	38	88.4	14	77.8	27	87.1	9	50	86.2
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0		0		0	0
3	① そう思う	15	78.9	17	70.8		32	74.4	4	28.6	11	45.8	4	19	44.2	11	61.1	14	45.2	3	28	48.3
	② どちらとも言えない	1	5.26	4	16.7		5	11.6	4	28.6	8	33.3	0	12	27.9	1	5.56	7	22.6	2	10	17.2
	③ 思わない	3	15.8	3	12.5		6	14	6	42.9	5	20.8	1	12	27.9	6	33.3	9	29	4	19	32.8
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0	1	3.23		1	1.72
4	① そう思う	3	15.8	3	12.5		6	14	1	7.14	1	4.17	0	2	4.65	2	11.1	2	6.45	2	6	10.3
	② どちらとも言えない	7	36.8	7	29.2		14	32.6	2	14.3	8	33.3	1	11	25.6	3	16.7	11	35.5	1	15	25.9
	③ 思わない	9	47.4	14	58.3		23	53.5	11	78.6	14	58.3	4	29	67.4	13	72.2	18	58.1	6	37	63.8
	回答 無		0		0		0	0		0	1	4.17		1	2.33		0	0	0		0	0
5	① そう思う	3	15.8	0	0		3	6.98	3	21.4	2	8.33	0	5	11.6	3	16.7	0	0	2	5	8.62
	② どちらとも言えない	2	10.5	2	8.33		4	9.3	1	7.14	3	12.5	0	4	9.3	5	27.8	5	16.1	0	10	17.2
	③ 思わない	14	73.7	22	91.7		36	83.7	10	71.4	19	79.2	5	34	79.1	10	55.6	26	83.9	7	43	74.1
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0		0		0	0
6	① そう思う	2	10.5	0	0		2	4.65	1	7.14	0	0	0	1	2.33	0	0	0	0	0	0	0
	② どちらとも言えない	3	15.8	2	8.33		5	11.6	2	14.3	2	8.33	0	4	9.3	2	11.1	0	0	1	3	5.17
	③ 思わない	14	73.7	22	91.7		36	83.7	11	78.6	22	91.7	5	38	88.4	16	88.9	31	100	8	55	94.8
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0		0		0	0
7	① そう思う	4	21.1	3	12.5		7	16.3	3	21.4	5	20.8	0	8	18.6	1	5.56	1	3.23	1	3	5.17
	② どちらとも言えない	10	52.6	11	45.8		21	48.8	7	50	9	37.5	4	20	46.5	9	50	12	38.7	6	27	46.6
	③ 思わない	5	26.3	10	41.7		15	34.9	4	28.6	10	41.7	1	15	34.9	8	44.4	18	58.1	2	28	48.3
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		0		0		0	0
8	① そう思う	2	10.5	2	8.33		4	9.3	1	7.14	3	12.5	0	4	9.3	1	5.56	1	3.23	1	3	5.17
	② どちらとも言えない	6	31.6	5	20.8		11	25.6	3	21.4	3	12.5	0	6	14	4	22.2	5	16.1	1	10	17.2
	③ 思わない	11	57.9	17	70.8		28	65.1	10	71.4	18	75	5	33	76.7	12	66.7	25	80.6	7	44	75.9
	回答 無		0		0		0	0		0		0		0	0		1	5.56		0		1

60代						70代以上						年齢性別 記入無		総計			
男 21	%	女 59	%	不明 12	計 92	%	男 15	%	女 70	%	不明 25	計 110	%	計 27	%	373	%
11	52.4	12	20.3	4	27	29.3	10	66.7	28	40	5	43	39.1	13	48.1	148	39.67828
6	28.6	21	35.6	5	32	34.8	3	20	20	28.6	12	35	31.8	6	22.2	114	30.563
4	19	26	44.1	3	33	35.9	2	13.3	21	30	8	31	28.2	8	29.6	110	29.49062
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.43		1	0.91		0	1	0.268097
1	4.76	2	3.39	0	3	3.26	1	6.67	2	2.86	2	5	4.55	3	11.1	16	4.289544
1	4.76	7	11.9	1	9	9.78	3	20	12	17.1	2	17	15.5	4	14.8	44	11.79625
19	90.5	50	84.7	11	80	87	11	73.3	55	78.6	21	87	79.1	20	74.1	312	83.64611
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.43		1	0.91		0	1	0.268097
17	81	28	47.5	7	52	56.5	9	60	53	75.7	11	73	66.4	17	63	221	59.24933
1	4.76	9	15.3	4	14	15.2	1	6.67	3	4.29	4	8	7.27	4	14.8	53	14.20912
3	14.3	22	37.3	1	26	28.3	5	33.3	14	20	10	29	26.4	6	22.2	98	26.27346
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	1	0.268097
3	14.3	10	16.9	2	15	16.3	7	46.7	18	25.7	2	27	24.5	3	11.1	59	15.81769
6	28.6	20	33.9	5	31	33.7	1	6.67	17	24.3	5	23	20.9	10	37	104	27.88204
12	57.1	29	49.2	5	46	50	7	46.7	35	50	18	60	54.5	14	51.9	209	56.03217
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	1	0.268097
3	14.3	3	5.08	0	6	6.52	5	33.3	9	12.9	6	20	18.2	4	14.8	43	11.52815
3	14.3	9	15.3	4	16	17.4	2	13.3	15	21.4	4	21	19.1	4	14.8	59	15.81769
15	71.4	47	79.7	8	70	76.1	8	53.3	46	65.7	15	69	62.7	19	70.4	271	72.65416
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0
0	0	1	1.69	0	1	1.09	3	20	4	5.71	1	8	7.27	1	3.7	13	3.485255
2	9.52	2	3.39	0	4	4.35	4	26.7	5	7.14	0	9	8.18	1	3.7	26	6.970509
19	90.5	56	94.9	12	87	94.6	8	53.3	61	87.1	24	93	84.5	25	92.6	334	89.54424
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0
3	14.3	11	18.6	2	16	17.4	3	20	9	12.9	3	15	13.6	6	22.2	55	14.73995
6	28.6	15	25.4	4	25	27.2	1	6.67	25	35.7	12	38	34.5	8	29.6	139	37.26542
12	57.1	33	55.9	6	51	55.4	11	73.3	36	51.4	10	57	51.8	13	48.1	179	47.98928
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0
3	14.3	3	5.08	0	6	6.52	6	40	14	20	2	22	20	4	14.8	43	11.52815
5	23.8	8	13.6	1	14	15.2	3	20	18	25.7	3	24	21.8	4	14.8	69	18.49866
13	61.9	48	81.4	11	72	78.3	6	40	38	54.3	20	64	58.2	19	70.4	260	69.70509
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	1	0.268097

373

373

373

373

373

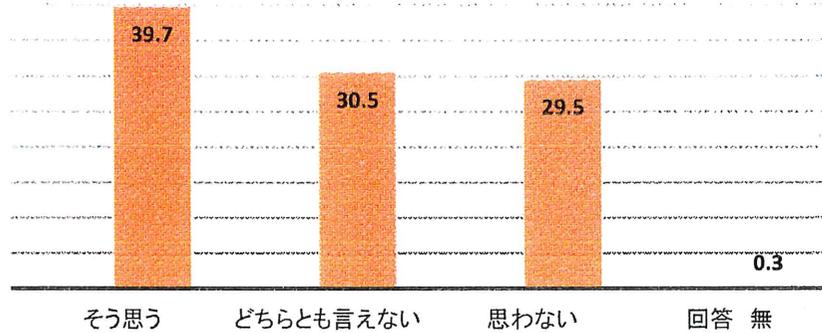
373

373

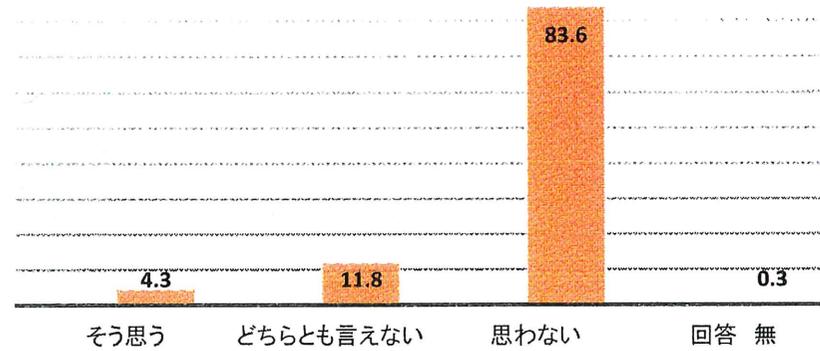
373

全体数 グラフ

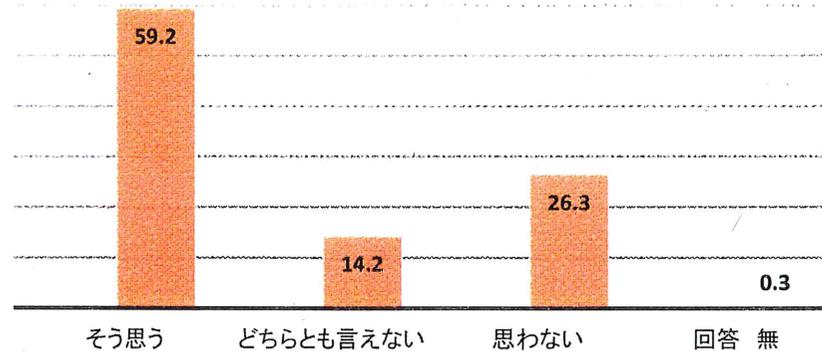
1, 夫婦のコミュニケーションの不足も暴力の原因と
思う



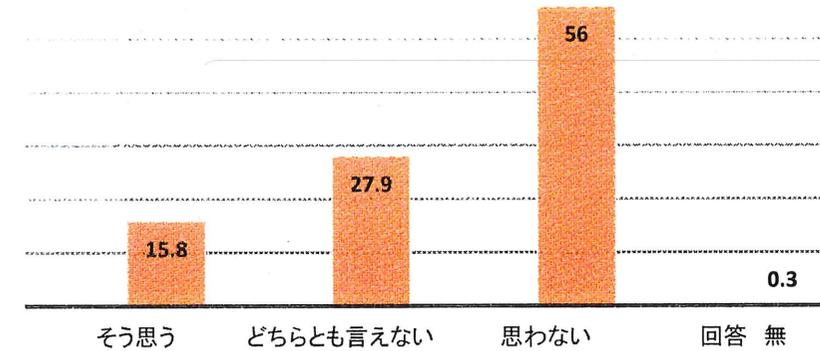
2, 子どもの成長には父親の存在が必要であり、多
少の暴力は我慢する方がよい



3, 夫婦間暴力は、両方から話を聞いてみないとわ
からない

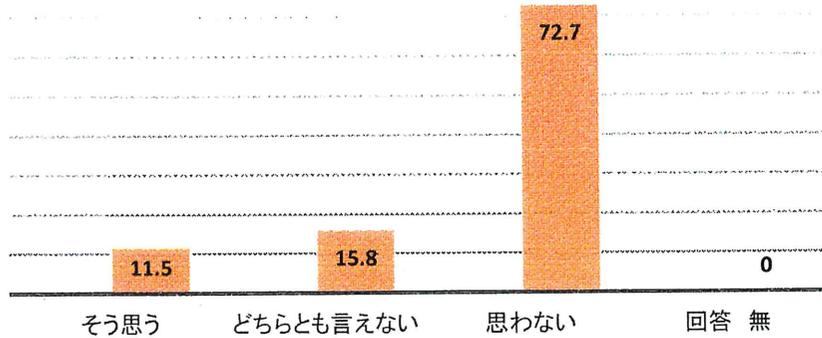


4, 暴力を振るわれても逃げない女性の方にも問題
があると思う

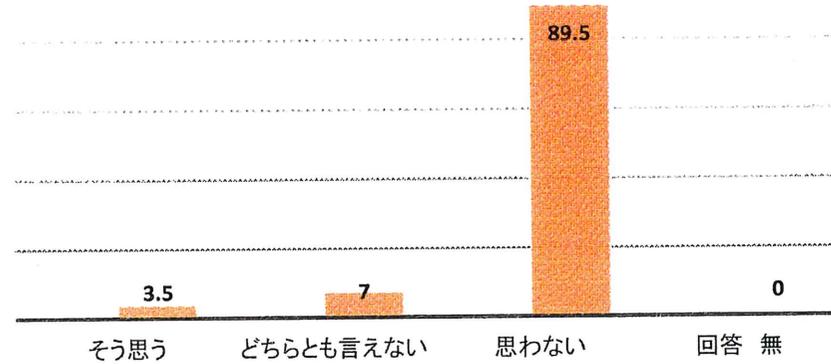


全体数 グラフ

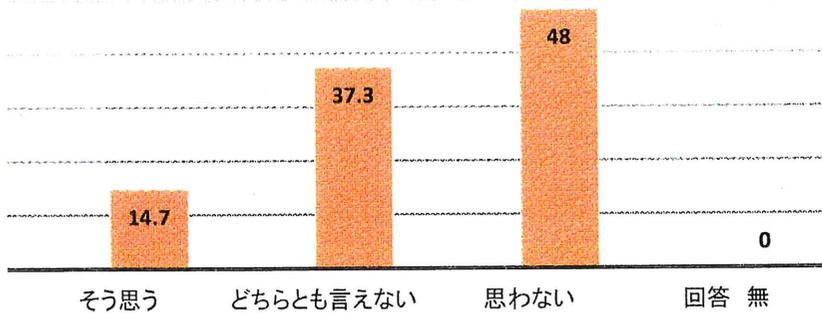
5、男性は口下手だから、つい手が出てしまうこともあると思う



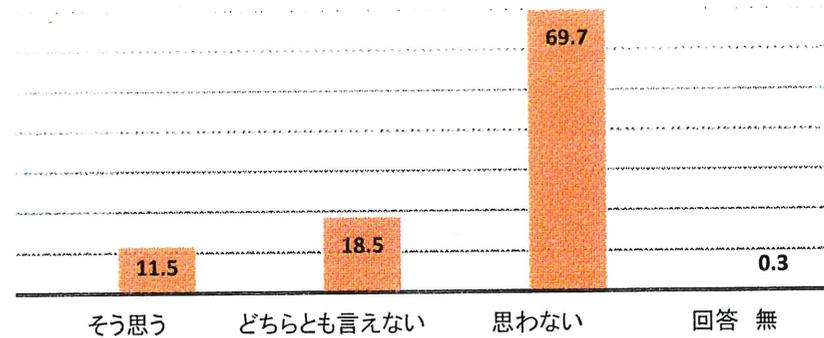
6、生意気だ、気がきかない、素直じゃないなど、女性の方にも悪いところがあれば、夫から多少暴力を振るわれなくても仕方ないと思う



7、男性が妻に暴力を振るうのはストレスが原因と思う



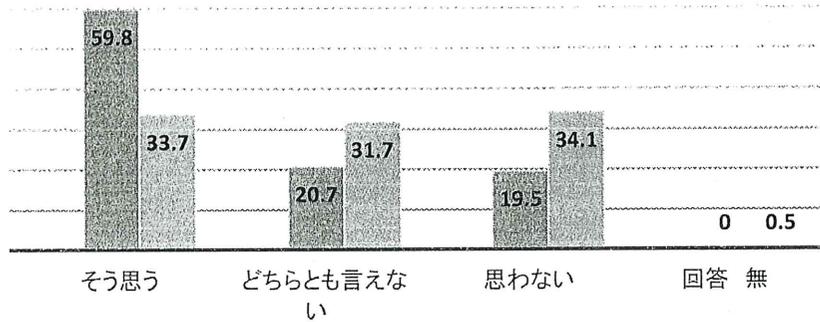
8、暴力を振るわれるのは、振るわれる方にも責任があると思う



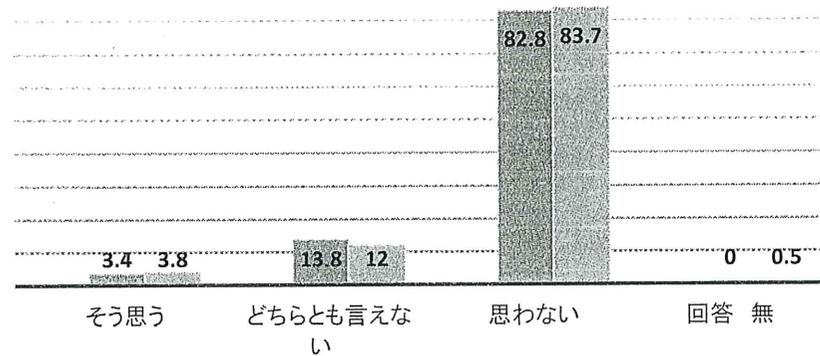
男女別 グラフ

● 男性 ● 女性

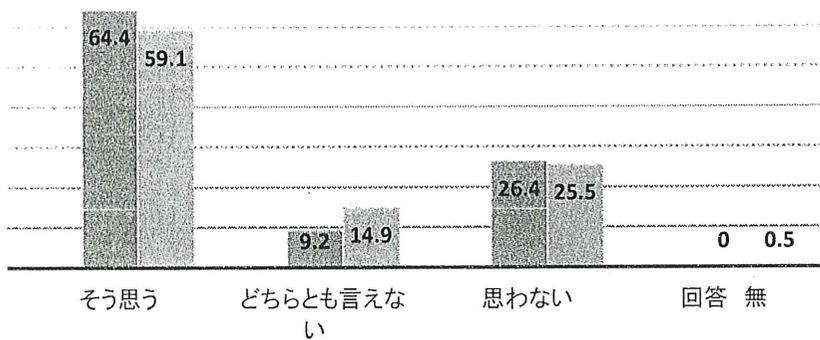
1、夫婦のコミュニケーションの不足も暴力の原因
と思う



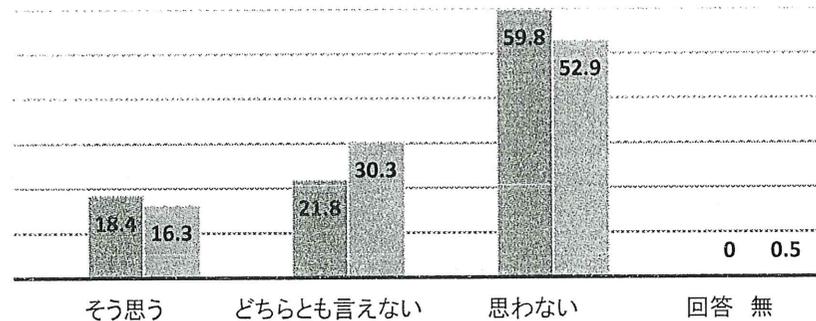
2、子どもの成長には父親の存在が必要であり、多少の暴力
は我慢する方がよい



3、夫婦間暴力は、両方から話を聞いてみないとわ
からない



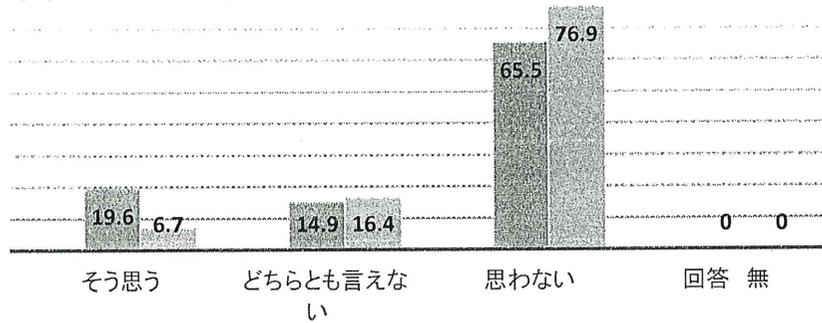
4、暴力を振るわれても逃げない女性の方にも問題
があると思う



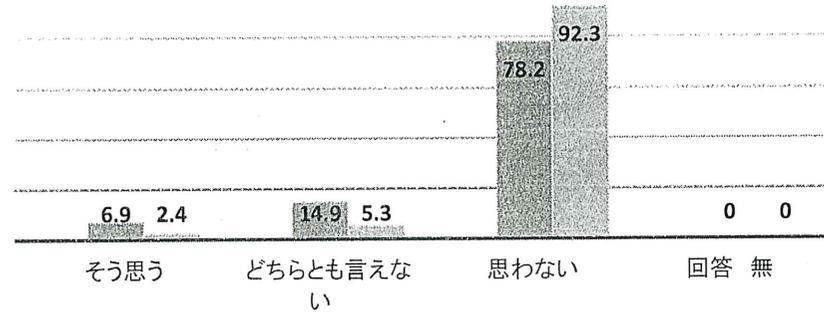
男女別 グラフ

●男性 ●女性

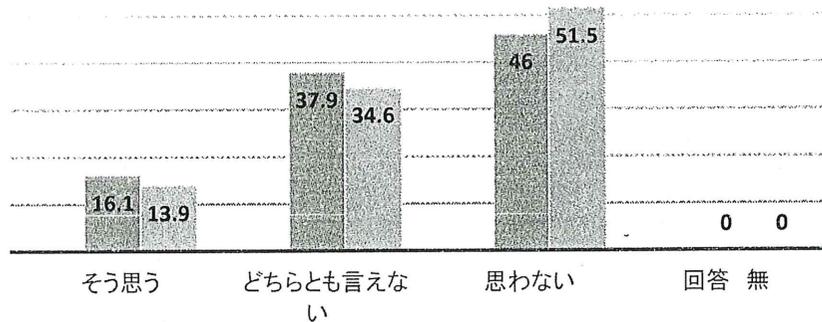
5、男性は口下手だから、つい手が出てしまうこともあると思う



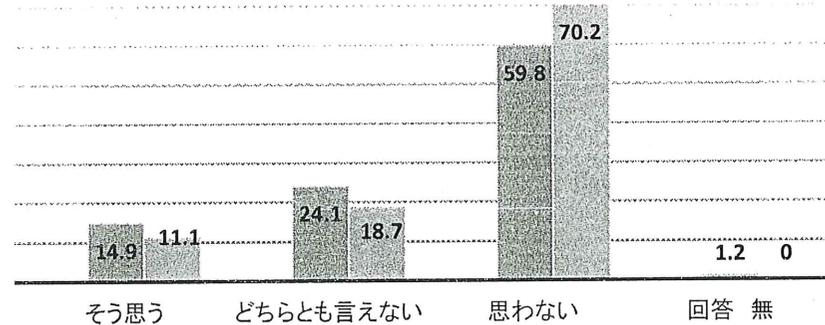
6、生意気だ、気が利かない、素直じゃないなど、女性の方にも悪いところがあれば、夫から多少暴力を振るわれても仕方ないと思う



7、男性が妻に暴力を振るうのはストレスが原因と思う



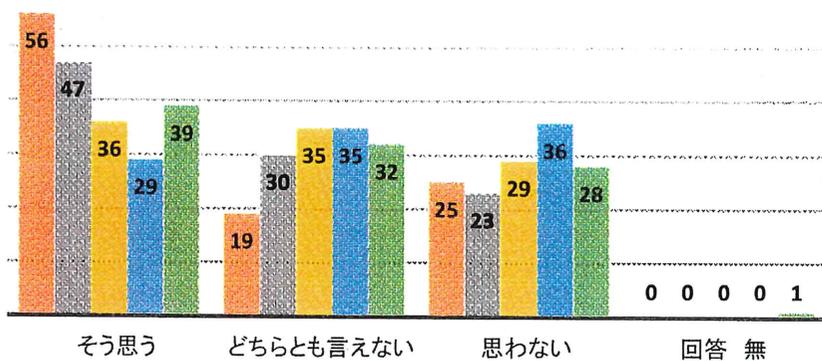
8、暴力を振るわれるのは、振るわれる方にも責任があると思う



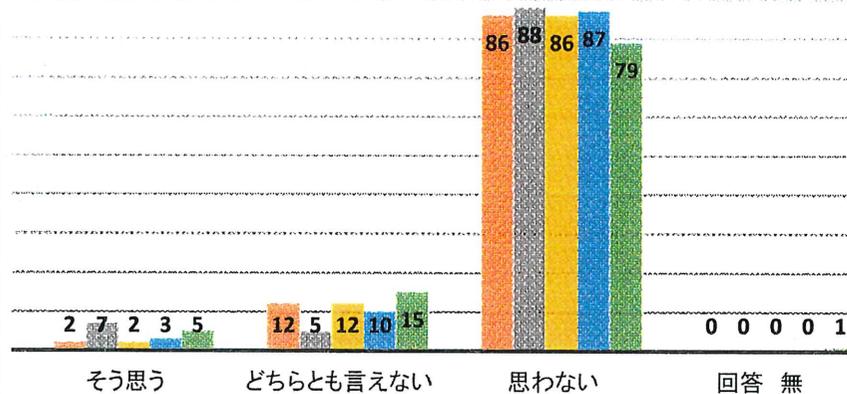
年齢別 グラフ

● 30代以下 ● 40代 ● 50代 ● 60代 ● 70代
以上

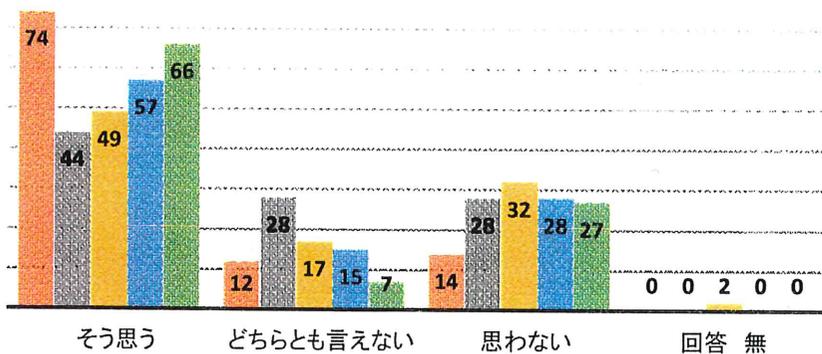
1, 夫婦のコミュニケーションの不足も暴力の原因と
思う



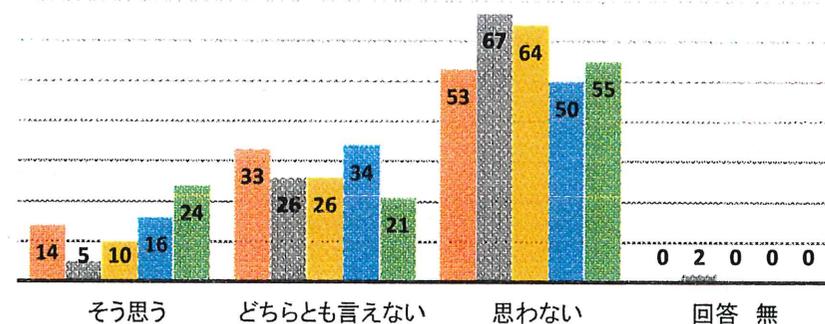
2, 子どもの成長には父親の存在が必要であり、多少の暴力
は我慢する方がよい



3, 夫婦間暴力は、両方から話を聞いてみないとわ
からない



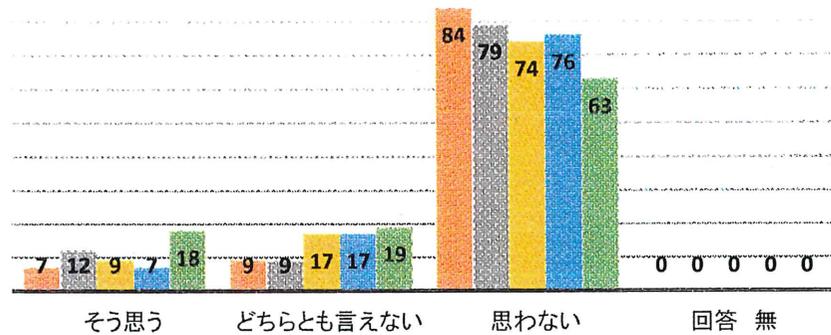
4, 暴力を振るわれても逃げない女性の方にも問題
があると思う



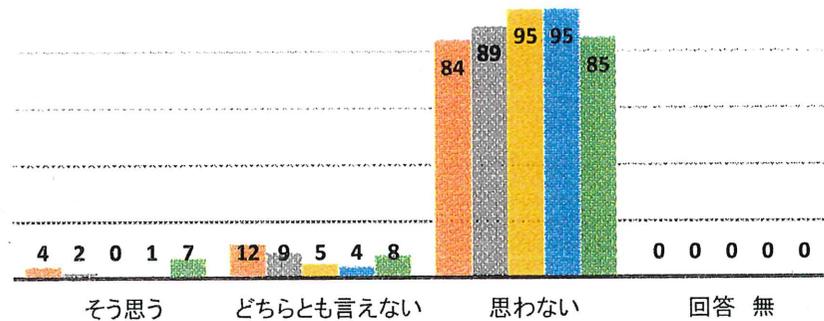
年齢別 グラフ

●30代以下 ●40代 ●50代 ●60代 ●70代以上

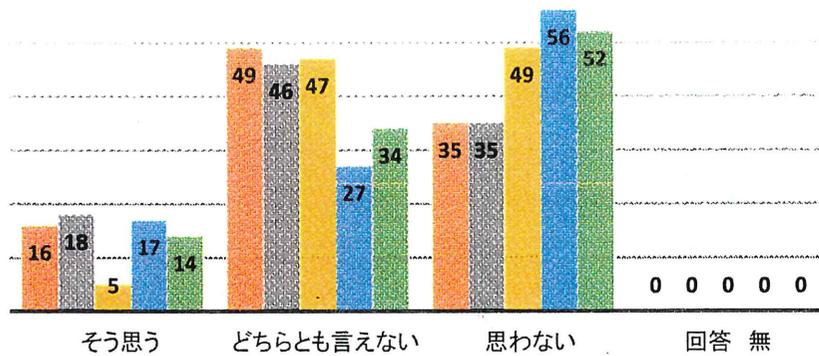
5、男性は口下手だから、つい手が出てしまうこともあると思う



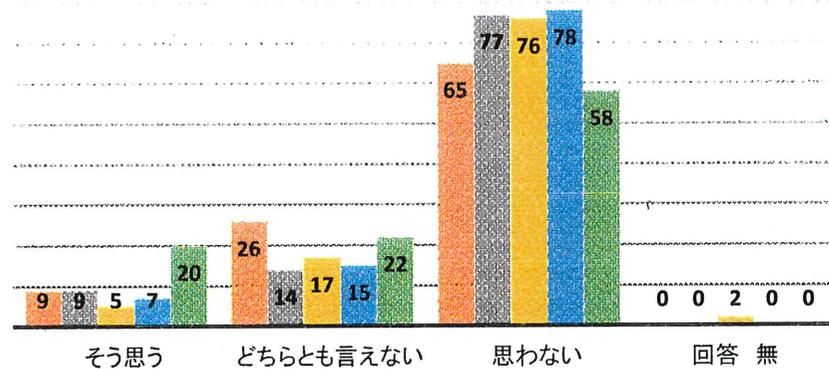
6、生意気だ、気が利かない、素直じゃないなど、女性の方にも悪いところがあれば、夫から多少暴力を振るわれても仕方がないと思う



7、男性が妻に暴力を振るうのはストレスが原因と思う



8、暴力を振るわれるのは、振るわれる方にも責任があると思う



意識調査結果を見てのつぶやきあれこれ！

調査結果を受けて感想、意見等役員でワイワイ、ガヤガヤと、、、

「全問「思わない」がトップになると思っていた。意外！」「いやいやどちらにするか迷ったところもあったよ。」「うん、私も。」「でも、夫婦間やカップル間の暴力について考えるいい機会になったね。」

「Q1とQ3以外は「思わない」を選んだ人が多いね。私もそう。Q1とQ3だけは「そう思う」を選んだ」「暴力に至る原因がそれじゃあ仕方ないよねっていう思いは暴力を容認するすることに繋がるね。」
「どんな時も暴力は絶対にダメ、暴力は最大の人権侵害だよね」

「だけど、どうして暴力を振るうかね」「暴力を振るう方に「上から目線」があるんじゃない。」
「夫婦間が対等でないってこと。対等でなければコミュニケーションも成り立ちにくいよね。」

「Q4で「思わない」が56%、低いなと思った。逃げる場所が少ないという社会の課題も忘れてはいけないね。」
「経済力の男女差も問題。女性が自立できる社会でないと、、、。課題が多いね。」
「逃げないのは個人の問題だけじゃないってことね。それが「どちらとも言えない」の約30%の人たちの思いじゃないかしら。」



2022「第1回グループ・団体活性化セミナー」実施

2022年10月14日午後1時半よりパーティ301号室にて、講師にウイメンズハウスとちぎのカウンセラーをお迎えして「第1回グループ・団体活性化セミナー」を実施しました。

テーマ「**「女性への暴力」は社会の問題 被害は身近なところで起きている**」

～今、できることを考えよう～

「DVとは夫婦や内縁関係など、親密な関係にある、または親密な関係にあった者から継続して振るわれる暴力であり、重大な人権侵害である。DVの本質は、力の差を背景に暴力を使って思い通りに支配すること。多くの被害者は誰にも相談していない。相談機関への相談は5%以下の現況」とのお話を伺いました。何故、相談できないのか？相談しやすい社会・地域にするために「今、できること」を県女連協として考えていきたいと思います。



DV被害者が抱える悩みを理解しよう！

被害者が抱える悩みとは？

- ・暴力を離れてからの不安（生活、学校、仕事、世間体等）を抱え、別れたくても別れられない。
- ・女性の貧困と性差別社会→経済的に自立が困難。
- ・DV被害女性を取り巻く二次被害。
 - ・子供のためには両親がいるほうが良い。
 - ・家庭を安らぎの場にするのが母親の役割。
 - ・離婚が原因で子どもは不安定になり問題行動が起きる。



加害者の暴力を容認し、被害者を責める言説

（ウイメンズハウスとちぎ資料参照）



DV被害者を支援するためには



被害者の対応で大切なこと

- 被害者の状況や起きていることを、被害者の側に立って理解する。
- 被害者の抱える問題を個人の問題としない。
- 被害者は力のない弱い人ではない、困難の中を生き延びてきた力のある人。回復する力を持っている人ということを理解する。
- 相談できる機関があること、情報を得て安全につながるために支援機関に相談することをすすめる。

(ウイメンズハウスとちぎ資料参照)



第1回活性化セミナーアンケートより

- 女性への暴力の現状を理解できた。
- 無意識にしていたかもと感じた「二次被害」。
- 「早く忘れて前に進みなさい」と言いがちであった。
- 意識チェックは深い設問だと思った。
- 関心を持ちアンテナを高くしていく必要を感じた。
- DVは個人の問題ではなく社会の問題と認識した。
- 今回学んだことを多くの人に伝えていきたい。
- 経済的に逃げることのできない問題をどう解決していけるのか。
- 相談できる環境をつくるためにDVへの理解を深める活動が大切と感じた。

(アンケートのご協力ありがとうございました)

お知らせ
ジェンダー平等に向けて、11月24日の第2回活性化セミナーで「今、できること」を皆で話し合いたいと思います。講座に参加した人、参加できなかった人を問わず多くの方の参加をお待ちしています。



今後のセミナーご案内

- 第2回グループ・団体活性化セミナー
 - 2022年11月24日 午後1:00～3:00 パルティ302号室
第1回活性化セミナーを受けて「今、できること」を話し合う。
- グループ・団体連携ネットワーク懇談会
 - 2023年1月12日 午後1:00～3:00 パルティ302号室
横山弁護士を講師に迎えて女性の貧困等について伺う。
皆さまのご参加をお待ちしています。



女連協と一緒に活動しませんか？



ジェンダーフリーの社会推進のために多くの人・団体の力を必要としています。
一緒に活動していただく人・団体を募集しています。

お気軽にご連絡下さい。

お問い合わせ 栃木県女性団体連絡協議会事務所 とちぎ男女共同参画センター内
電話028-665-7710 (火曜日 10:00~16:00)